

属性No	H-2	地震名	宝永	市町村名	宇和島市	整理No.	1/1
西 暦		和 暦		記載文献1	記載文献2	記載文献3	
年	月.日	年	月.日	地震, 第2輯, Vol.41, 1988	平岩陽子修士論文, 1994	自然災害科学 J.JSNDS, 15-1, 1996	
1707	10.28	宝永4	10.4				
記 載 内 容				現 地 調 査 結 果			
地 名	①吉田町立間尻新田2023-1 ②吉田町魚棚3丁目67			位置座標	①132° 32' 23.65" ②132° 32' 27.32"		
津波高 記載の有無	○・無				①33° 16' 21.45" ②33° 16' 25.96"		
津波高 (尺寸)				地盤高 (m)	①1.70 ②2.15		
m換算	①4 (羽鳥) ②5 (平岩, 村上)			その他			
文 献 抜 粋				現 地 写 真			
<p>[羽鳥徳太郎：瀬戸内海・豊後水道沿岸における宝永(1707)・安政(1854)・昭和(1946)南海道津波の挙動，地震，第2輯，Vol.41，1988，pp.219-pp.220]より転載 吉田：Fig5.およびFig6.記載の吉田の津波高4m。⇒よりH4m</p>							
<p>[平岩陽子：歴史資料に基づく四国沿岸域における津波浸水高の評価に関する研究，修士論文，1994，付表]より転載 吉田：H5m[但し，津波高に関する記述文はなし] (参考資料として，1993年に徳島大学で取りまとめられている歴史史料から抜粋した吉田浦での宝永津波の津波高および津波高に関する記事より研究調査された津波高の報告資料を，以下に示す。 ・民家50軒斗流失 ・潮の高さは平地より8，9Rくらい上る (T.P.2.4m) (町内B.M.1.6m) ⇒以上よりH5m)</p>							
<p>[村上仁士・島田富美雄・伊藤禎彦・山本尚明・石塚淳一：四国における歴史津波(1605慶長・1707宝永・1854安政)の津波高の再検討，自然災害科学 J.JSNDS, 15-1, 1996, pp.43]より転載 表1. 四国沿岸での歴史津波の津波高(1946の項はM.S.L., 他はT.P.基準, 単位:m) 吉田(1707): 5[但し, 津波高に関する記述文はなし] (参考資料として, 1993年に徳島大学で取りまとめられている歴史史料から抜粋した吉田浦での宝永津波の津波高および津波高に関する記事より研究調査された津波高の報告資料を, 以下に示す。 ・民家50軒斗流失 ・潮の高さは平地より8, 9Rくらい上る (T.P.2.4) ⇒以上よりH5m)</p>							
備 考							
位置座標①：浸水あるも到達地点は確認できず“吉田小学校”を位置設定とし，Web-GISで検索。							
// ②：測量成果はあるが地点と高さの詳細が不明のため“住吉神社”を位置設定とし，Web-GISで検索。							

現地状況写真

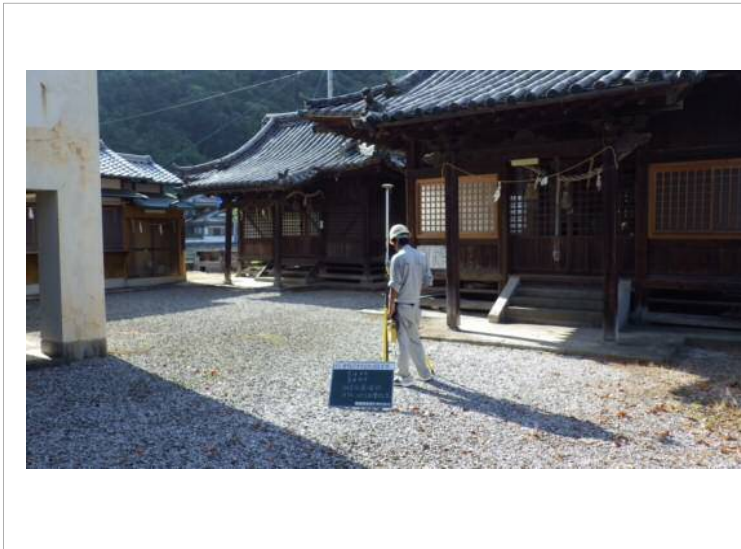


属性番号 H-2

位 置 宇和島市吉田町立間尻新田2023-1

写真番号 1

記 事 :

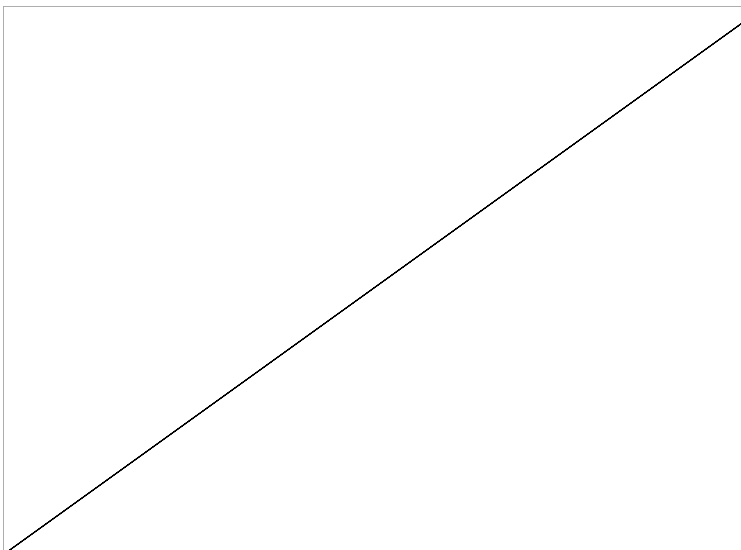


属性番号 H-2

位 置 宇和島市吉田町魚棚3丁目67

写真番号 2

記 事 :



属性番号 _____

位 置 _____

写真番号 _____

記 事 :
